

『子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ』 採取綿棒、採取方法及び抽出方法一部変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ用容器(容器記号：57)に付属されている綿棒につきまして、販売中止のため、別メーカーの綿棒に変更させていただくこととなりましたので、ご案内申し上げます。



なお、本変更に伴い、検体採取方法及び抽出方法を一部変更させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

2024年12月

【記】

変更内容	新	従来
容 器		

変更期日：在庫が無くなり次第順次変更

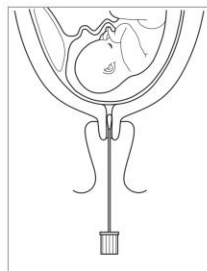
※ 変更後の検体採取方法及び抽出方法につきましては裏面を参照ください。

◇変更後の検体採取方法及び抽出方法

◇変更後の検体採取方法及び抽出方法

検体採取

1. 子宮腔部の粘液を綿球で丁寧に拭き取ります。
2. 綿棒を子宮頸管内腔に挿入します。
3. 綿棒をゆっくりと2回転させ、頸管粘液(滲出液)を採取します。



正しい採取部位

注意事項

- (1) 子宮頸管部より採取してください。
- (2) 検体採取は腔部洗浄前に行ってください。
- (3) 綿棒が外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないようにしてください。綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入してください。
- (4) 綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液(滲出液)をしみ込ませるようにしてください。少量の固形物が付着した場合には、ピンセット等で取り除いてください。又、大量の固形物が付着した場合には、検体採取をやり直してください。



- (5) 採取した検体は15分以内に抽出操作を行ってください。

抽出方法

① 抽出液の液面が、抽出容器の液量確認線の間にあることを確認します。なお、抽出液がキャップ中栓に付着している場合があるので、振り落とした後に液面の確認を行ってください。

② 頸管粘液(滲出液)を採取した綿棒を浸けて、2~3分間放置します。

③ 綿棒を20~30回細かく上下させて検体を抽出します。

④ 検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が満らない程度にした後、取り除きます。

⑤ フィルターをセットします。

⑥ 検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5~7滴(約300μL)を分取します。必要量を得られない場合は検体採取からやり直してください。

⑦ 検体保存容器にキャップをし、容器ラベルを貼って保存します。凍結にてご提出ください。